※令和３年度以前入学生用

学校番号	109

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	世界史Ｂ　新訂版（実教出版）						
副教材等	NEW STAGE 世界史詳覧（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史を学ぶ中で、「なぜそうなったのか」を常に考えよう。
・学習する内容が、現在の世界と日本のあり方にどうつながっているのか、それを踏まえて自分はどう振る舞えばよいかについて考えよう。

2　学習の到達目標

・世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させる。
・文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c: 資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	歴史的･地理的事象に対する関心と課題意識を高め､意欲的に追究するとともに､国際社会に主体的に生き国家･社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	歴史的･地理的事象から課題を見いだし､我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活･文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的･多角的に考察し､国際社会の変化を踏まえ公正に判断して､その過程や結果を適切に表現している。	歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，効果的に活用している。	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し，その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査
	〔主題学習〕 振り返りシート	〔主題学習〕 レポート	〔主題学習〕 レポート	〔主題学習〕 レポート
	※「主題学習」とは主題を設定して行う学習活動で、適切な時間を確保して行う。			

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	世界史への扉	自然環境からみたシュメール人の都市国家 歴史上にみる日本と中国の民間貿易 サッカーと世界史	○ ○ ○	○	○	○	a:自然環境と歴史、日本の歴史と世界の歴史のつながり、日常生活と歴史に関わる主題を意欲的に考察し、地理と歴史への関心を高めようとしている。 b:設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:設定された主題について、地理的条件や日本の歴史、日常生活と世界史との関わりから、世界史学習の意義に気づいている。	ワークシート
	諸地域世界の形成	ビッグバンから人類の出現へ 西アジア世界と地中海世界	○ ○			○ ○	a:オリエント文明の展開とイラン人の活動,地中海周辺に生まれた都市文明を統合したローマ帝国に対する関心を高め，西アジア世界の特質，地中海世界の形成,および両世界の密接な関係について意欲的に追究しようとしている。 b:オリエント文明の展開とイラン人の活動,地中海周辺に生まれた都市文明を統合したローマ帝国について多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:オリエント文明の展開とイラン人の活動,地中海周辺に生まれた都市文明を統合したローマ帝国に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:・メソポタミアとエジプトの文明の特色を把握し，基本的知識を身に付けている。 ・イラン人が西アジア全体を統一し諸民族の交流を促したこと，またイラン文明を東西に伝播させたことを把握し，基本的知識を身に付けている。 ・ギリシア文明の形成と特色，西アジア一帯への波及とローマ文明への影響について把握し，基本的知識を身に付けている。 ・ローマが大帝国を建設していった過程やローマ法・キリスト教の成立などについて把握し,基本的知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

※令和３年度以前入学生用

1学期	諸地域世界の形成	アフリカ世界と南北アメリカ世界	○			○	a:アフリカ内陸部の王国やアメリカで独自に発達した都市文明に対する関心を高め,それらの独自性について意欲的に追究しようとしている。 b:アフリカ内陸部の王国やアメリカで独自に発達した都市文明について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:アフリカ内陸部の王国やアメリカで独自に発達した都市文明に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:・東アフリカではオリエントとナイル川と紅海でつながった地域に，西アフリカでは砂漠ルートで北アフリカと結ばれた地域に，それぞれ王国が成立し，その後イスラームが浸透していったことを把握し，基本的知識を身に付けている。 ・アメリカでは，北はメソアメリカに，南は中央アンデスに都市文明が成立し，15 世紀になると広域支配が進んだが，16 世紀にスペイン人に征服されたことを把握し，基本的知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
	諸地域世界の交流	イスラームの広がりと西アジア世界の展開	○			○	a:アラブ人とイスラーム帝国の発展，トルコ系民族の活動とイスラーム世界の拡大，イスラーム都市を核とした海陸のネットワークの形成とユーラシア諸地域間の交流の活発化に対する関心を高め,意欲的に追究しようとしている。 b:アラブ人とイスラーム帝国の発展，トルコ系民族の活動とイスラーム世界の拡大，イスラーム都市を核とした海陸のネットワークの形成とユーラシア諸地域間の交流の活発化を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:アラブ人とイスラーム帝国の発展，トルコ系民族の活動とイスラーム世界の拡大，イスラーム都市を核とした海陸のネットワークの形成とユーラシア諸地域間の交流の活発化に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:・イスラームの成立の背景と特質を把握し,基本的知識を身に付けている。 ・アラブ人の征服活動とイスラーム帝国の成立について把握し，基本的知識を身に付けている。 ・アッバース朝の衰退後も，イスラーム世界の一体性は維持されたこと，トルコ系民族の活動がこの世界に新たな活力をもたらしたこと，またムスリム商人と神秘主義教団が各地のイスラーム化に重要な役割を果たしたことを把握し，基本的知識を身に付けている。 ・イスラーム文明が融合文明であり，自然科学・哲学などの分野で高度に発展し，ルネサンスの一因となり，また中国にも影響を与えたことを把握し,基本的知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
		ヨーロッパ世界の形成と展開	○			○	a:地中海世界が解体した後に，キリスト教を共通の基盤とするヨーロッパ世界が，東西の地域性を保ちながら形成され，変動していった過程に対する関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b:地中海世界が解体した後に，キリスト教を共通の基盤とするヨーロッパ世界が，東西の地域性を保ちながら形成され，変動していった過程を多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:地中海世界が解体した後に，キリスト教を共通の基盤とするヨーロッパ世界が，東西の地域性を保ちながら形成され，変動していった過程に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	定期考査 ワークシート

※令和３年度以前入学生用

2学期	一体化にむかう世界	近世ヨーロッパと大航海時代		○		○	d:・西ヨーロッパではルネサンスと宗教改革，新航路の開拓を経て主権国家体制が形成され，アメリカではヨーロッパ人による征服と入植・開発が先住民社会の変質を余儀なくしたこと，また第２次大交易時代で沸き返るアジア貿易への参入やメキシコ銀の流入がヨーロッパ経済の成長と転換をもたらしたことを理解し，その知識を身に付けている。 ・西ヨーロッパ諸国の重商主義に基づく経済活動と植民地争奪戦の結果，東ヨーロッパでは農場領主制が成立し，アメリカでは奴隷労働によるプランテーションが拡大し，大西洋に三角貿易が発達するなど，国際分業体制が形成されたことを理解し，その知識を身に付けている。 ・合理主義・科学革命・国際法やバロック・ロココの芸術などの，ヨーロッパの新しい文化の動向とそれを生み出した社会的状況を理解し，その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
		アジア諸地域の帝国と第2次大交易時代	○			○	a:16 世紀から 18 世紀にかけてのアジア諸地域世界の動向に対する関心を高め，それぞれの社会や文化の特質について意欲的に追究しようとしている。 b:16 世紀から 18 世紀にかけてのアジア諸地域世界の動向，それぞれの社会や文化の特質について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:16 世紀から 18 世紀にかけてのアジア諸地域世界の動向に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:・西アジアや南アジアでは，イスラームの帝国が海上に交易圏を形成して栄えたことや，強大な皇帝権と官僚制を発達させる一方で，非ムスリムに対して柔軟な統治を行ったことを理解し，その知識を身に付けている。 ・東南アジア海域では，第２次大交易時代の活況のなかでイスラームが拡大するとともに，港市が発達し，ヨーロッパ諸国と競合しつつ香薬貿易で繁栄したことや，大陸部の国家が中国や琉球との交易を行ったことを理解し，その知識を身に付けている。 ・東アジアでは，明がモンゴルや倭寇の活動に苦しみながらも商工業を発達させたが，中華秩序の動揺は，東アジアに緊張と再編をもたらしたことを理解し，その知識を身に付けている。 ・16 世紀後半から 17 世紀の日本が銀を中国に輸出したことや鎖国後も外の世界とつながっていたことを理解し，その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
		環大西洋革命とパクス=ブリタニカ		○		○	a:18 世紀後半から 19 世紀初頭にかけてのヨーロッパとアメリカの諸革命に対する関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b:18 世紀後半から 19 世紀初頭にかけてのヨーロッパとアメリカの諸革命について多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:18 世紀後半から 19 世紀初頭にかけてのヨーロッパとアメリカの諸革命に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:・イギリス産業革命の世界的背景や展開，産業資本主義の確立，自由主義的風潮の広まりや社会主義思想の誕生について理解し，その知識を身に付けている。 ・アメリカ独立革命・フランス革命などの結果，市民社会が成立し，さらには国民国家の形成が促されたことを理解し，その知識を身に付けている。 ・独立後のアメリカでは、フロンティアの存在と西漸運動がアメリカ人独特のものの考えや行動様式を育むうえで重要な役割を果たしたことを理解し、その知識を身につけている。 ・ラテンアメリカ諸国の独立と，これらの国々では独立後も欧米資本主義国への従属が強まっていったことを理解し，その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

※令和３年度以前入学生用

2学期	一体化にむかう世界	近代ヨーロッパ・アメリカの国民国家		○	○		a:19 世紀におけるヨーロッパとアメリカ社会の変容に対する関心を高め、社会の産業化と国民国家の形成が相互に関係しつつ進んだことによって，ヨーロッパを中心として近代が確立したことについて、意欲的に追究しようとしている。 b:19 世紀におけるヨーロッパとアメリカ社会において、社会の産業化と国民国家の形成が相互に関係しつつ進んだことによって，ヨーロッパを中心として近代が確立したことを多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:19 世紀におけるヨーロッパとアメリカ社会の変容に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:・ヨーロッパ各国の自由主義的・国民主義的運動と，ウィーン体制およびその解体過程について理解し，その知識を身に付けている。 ・さまざまな性格を持っていたイタリアとドイツの統一運動が，最終的にサルデーニャとプロイセンによって「上から」完成されたことについて理解し，その知識を身に付けている。 ・ロシアは皇帝主導の近代的改革を実施したが，その後の専制政治の強化に対して知識人の反発を招いたことを理解し，その知識を身に付けている。 ・南北戦争を経たアメリカでは、移民の大量流入と資本の集中などにより工業が躍進したことを，黒人奴隷制や人種・民族問題を含めて理解し，その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート 振り返りシート レポート
	地球世界の到来	地球をおおう帝国主義と世界諸地域の抵抗	○			○	a:19 世紀後期から 20 世紀初期にかけての列強の世界分割をめぐる競合と，アジア・アフリカの対応に対する関心を高め，帝国主義時代の世界の一体化と社会の変容について意欲的に追究しようとしている。 b:19 世紀後期から 20 世紀初期にかけての列強の世界分割をめぐる競合と，アジア・アフリカの対応について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:19 世紀後期から 20 世紀初期にかけての列強の世界分割をめぐる競合と，アジア・アフリカの対応に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:・第２次産業革命の進展により独占資本の形成が進み，列強による植民地獲得や勢力圏拡大競争が繰り広げられたことを理解し，その知識を身に付けている。 ・ヨーロッパ諸国の進出により，アジア諸国は経済・政治・社会・文化の面でヨーロッパの影響を強く受けたことや，国内の改革を迫られたことを理解し，その知識を身に付けている。 ・西アジアや南アジアでは，ヨーロッパ諸国と国内支配層による二重の抑圧に苦しむ人々のなかに，イスラームやヒンドゥー教などの本源や伝統への復帰を目指す動きが現れたことを理解し，その知識を身に付けている。 ・列強の支配を受けた諸国では，次第に民族意識が覚醒し，ロシア第一革命や日露戦争を機に各地で民族解放や独立を目指すナショナリズムの運動が展開されたことを理解し，その知識を身に付けている。 ・開国後の日本はヨーロッパ文明の導入や制度改革に努め，新興国家としての地位を確立したことを理解し，その知識を身に付けている。 ・日本が近代的諸制度を取り入れて国力を充実し，不平等条約の改正に成功するとともに，列強の一員としてアジアへの勢力拡張に加わったことを理解し，その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

※令和３年度以前入学生用

2学期	地球世界の到来	二つの世界大戦		○		○	a:第一次世界大戦前夜から戦間期、世界恐慌から第二次世界大戦終結までの世界と日本の動向に対して関心を高め，20 世紀前半の国際関係と社会の特質について意欲的に追究しようとしている。 b:第一次世界大戦前夜から戦間期、世界恐慌から第二次世界大戦終結までの世界と日本の動向、さらに 20 世紀前半の国際関係と社会の特質について多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:第一次世界大戦前夜から戦間期、世界恐慌から第二次世界大戦終結までの世界と日本の動向に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:・第一次世界大戦とロシア革命は，20 世紀の大変動の起点となったことを理解し，その知識を身に付けている。 ・戦間期の世界でアメリカの影響力が増大したこと，国際協調と平和への努力がなされたがこれらの動きがもろさを持っていたことを理解し，その知識を身に付けている。 ・第一次世界大戦後，アジアでは民族運動が大衆的基盤を持つに至り，アジア諸民族の動向が世界史の新しい潮流を作り出したことを理解し，その知識を身に付けている。 ・第一次世界大戦後に世界経済の中心的な地位を占めるようになったアメリカで始まった世界恐慌が，世界情勢を一変させたことを理解し，その知識を身に付けている。 ・第二次世界大戦について，戦争が持った複合的な性格を視野に入れて戦争の広域化と惨禍を理解し，その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
3学期	地球世界の到来	冷戦から多極的国際社会へ	○	○			a:米ソの冷戦体制は，アジア・アフリカ諸国の独立や米ソ両陣営の内部変化を通じて揺らぎ始め，世界が多極化していったことに対する関心を高め，第二次世界大戦の終結から 1970 年代初期までの世界の動向について意欲的に追究しようとしている。 b:米ソの冷戦体制は，アジア・アフリカ諸国の独立や米ソ両陣営の内部変化を通じて揺らぎ始め，世界が多極化していったことを多角的･多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:米ソの冷戦体制は，アジア・アフリカ諸国の独立や米ソ両陣営の内部変化を通じて揺らぎ始め，世界が多極化していったことに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:・第二次世界大戦後，米ソの対立が激化し，それぞれが各陣営の強化を図るなかで，対立関係は非ヨーロッパ世界にも拡大し，さまざまな紛争を引き起こしたことを理解し，その知識を身に付けている。 ・戦後のアジア・アフリカ地域では，民族独立運動により旧植民地の大半が独立し，第三勢力としての発言権を獲得したが、第三勢力の経済的自立は容易ではなく，南北問題が深刻化したことを理解し，その知識を身に付けている。 ・1960 年代になると，米ソ両国による平和共存の模索がなされるようになったこと，また米ソの指導力にかげりが見え始め，1970 年代初期には国際政治において多極化が進展したことを理解し，その知識を身に付けている。 ・1970 年代には，アメリカ合衆国主導の国際通貨体制が瓦解し，変動相場制に移行したこと，石油危機が，日本や西欧諸国などの経済に大きな打撃を与えたことを理解し，その知識を身に付けている。 ・1980 年代のソヴィエト連邦は，国家体制に行き詰まりを見せ，ペレストロイカを敢行したが成果は得られず，東欧諸国の民主化に拍車がかかったこと，さらに 80 年代末には東欧諸国で社会主義体制が崩壊するとともに米ソ首脳会談を通じて冷戦の終結が宣言されるに至ったことを理解し，その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

※令和３年度以前入学生用

３学期	地球世界の到来	グローバリゼーションと地球環境の危機		○	○		a:市場経済の世界化，冷戦体制の崩壊などにより，地球規模での相互依存が強まったことに対する関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b:市場経済の世界化，冷戦体制の崩壊などにより，地球規模での相互依存が強まったことについて多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:市場経済の世界化，冷戦体制の崩壊などにより，地球規模での相互依存が強まったことに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:・1990 年代の世界では，冷戦終結後の新たな国際秩序が模索されるなかで，中東湾岸戦争，民族間・部族間紛争などが相次いで起こり，国家のあり方が問い直されていること，また地域統合の動きも各地で進行していることを理解し，その知識を身に付けている。 ・地球温暖化や大気汚染、森林の消滅などの環境・資源・エネルギー問題も、地球世界の切実な課題であることを理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 振り返りシート レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。